

製品名: mGluR1a ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87338**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:132 kDa; Observed MW:125,250 kDa

抗原情報

遺伝子名	mGluR1a
別名	MGLU1; SCA44; GPRC1A; MGLUR1; SCAR13; PPP1R85
遺伝子 ID	2911
SwissProt ID	Q13255
免疫原	ヒト mGluR1a の合成ペプチド

背景

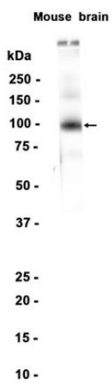
この遺伝子は、ホスホリパーゼ C を活性化することで機能する代謝型グルタミン酸受容体をコードしています。L-グルタミン酸は中

中枢神経系における主要な興奮性神経伝達物質であり、イオンチャネル型および代謝型グルタミン酸受容体の両方を活性化します。グルタミン酸作動性神経伝達は正常な脳機能のほとんどの側面に関与しており、多くの神経病態において障害を受ける可能性があります。コードされているタンパク質の標準的な α アイソフォームは、ジスルフィド結合したホモ二量体であり、その活性は G タンパク質共役型ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャーシステムによって媒介されます。この遺伝子は、統合失調症、双極性障害、うつ病、乳がんなど、多くの疾患状態と関連している可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2013年5月]

研究分野

-

画像データ



mGluR1a ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。